



中期経営計画(2021年4月 ～ 2024年3月)

Co-Creation inspire

～次世代の創出を共にめざして～

株式会社 **オーイーシー**

目次



1. トップメッセージ 1

2. 新中期経営計画について 2

2-1. 企業理念 3

2-2. 我々を取り巻く環境と取組 4

2-3. 基本テーマ 5

2-4. 基本方針 6

2-5. 財務計画 9

2-6. 人員計画 10

2-7. 人財力強化計画 11

(参考) 二つのモード 15

1. トップメッセージ

～ 新中期経営計画スタートにあたって～



代表取締役社長

加藤 健

あらゆる産業でデジタル技術の活用、DX（デジタルトランスフォーメーション）がかつてないスピードで進む時代にオーイーシーは今年4月に創立55周年を迎えます。これからの時代を生き抜き、成長していくために我々はビジネスモデルに加えて、業務プロセスや組織、企業文化・風土を変革していかなければなりません。それは従来の発想、やり方を劇的に変えていくことからしか成し遂げられません。全部門一体となって、この変革に取り組んでいきましょう。

コア事業のさらなる成長と新規DX事業の創出、収益性強化、様々なプロセスの標準化・効率化、人事制度や働く環境の見直しまで、経営・現場の重要課題解決をお客様や社員の声を取り入れながら、取り組んでいきます。お客様のDXパートナーとして、デジタルテクノロジーを活用した社会課題の解決に貢献していきます。

「部門間の縦割りの弊害」など硬直化した社内カルチャーは変革、多様性を尊重、キャリアや外国人の採用、女性の活躍に今まで以上に積極的に取り組み社内体制の整備、強化に急ピッチで取り組んでいきます。

時代の変化の先頭に立ち、お客様、社会に貢献するためにメーカ、パートナーと連携、多様な情報を吸い上げ、自社の課題や将来に向けた変化の兆しを速やかに把握、様々な施策の立案・決定・展開・改善のサイクルを高速に回し、行動・実現していきます。

2021年4月



2. 新中期経営計画について

2-1. 企業理念



企業理念

オーイーシーグループは、「技術と信用と真心」をモットーに、高い技術力をもったICTサービス企業として、お客様のニーズにお応えし、社会に貢献してまいります。

ビジョン

お客様への高付加価値、そして喜びを与える企業へ。その喜びを自分の喜びに感じられる社員へ。

企業使命

時代の変化の先頭に立ち、デジタルテクノロジーの活用でお客様、社会の課題解決に貢献していきます。

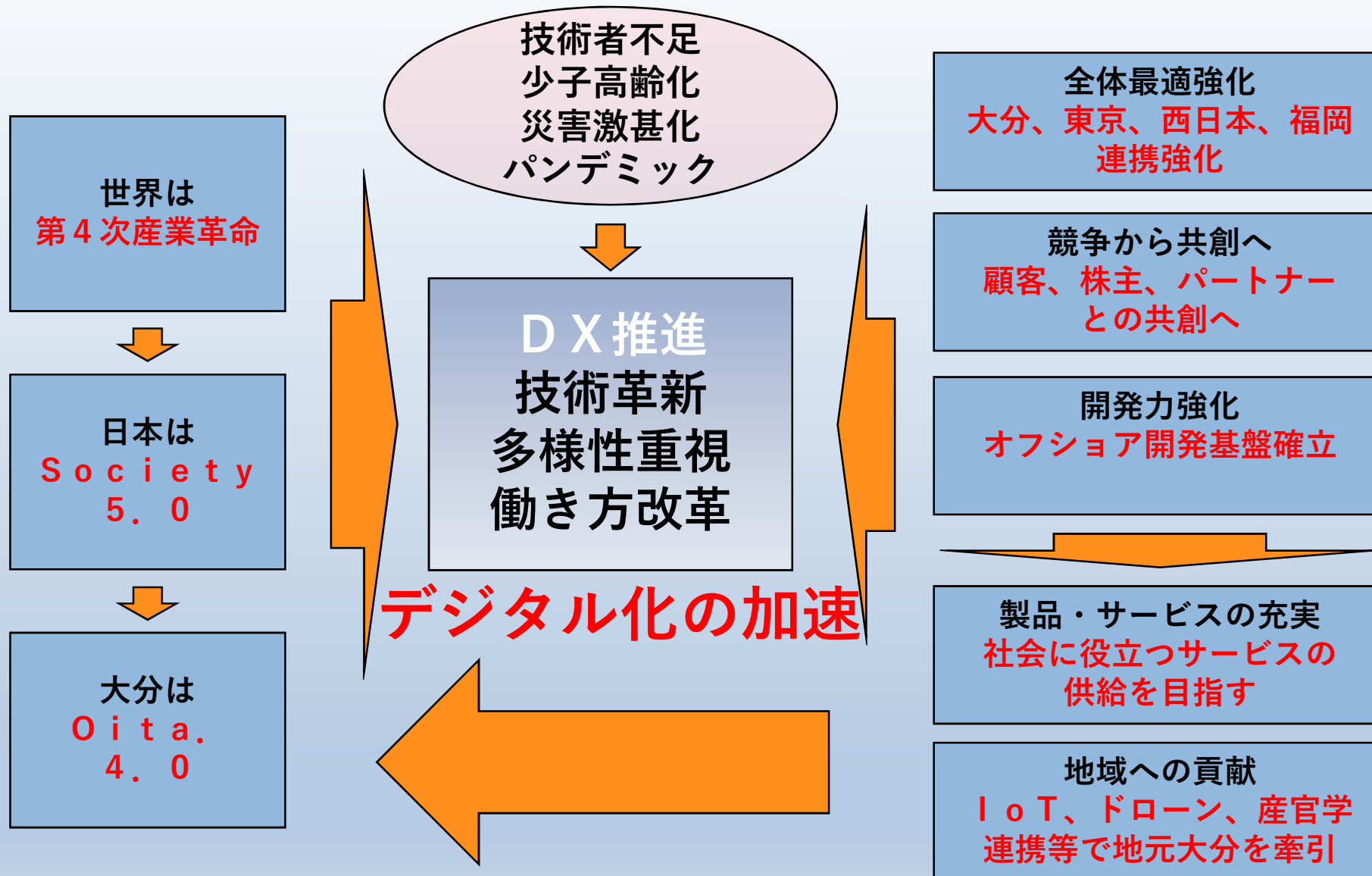
企業コンセプト

人と社会と未来に貢献する
エクセレントカンパニー

行動規範

- 私たちはお客様への満足の提供という共通の目標を持ちます。
- 私たちはお客様のニーズを品質活動に結びつけます。
- 私たちはお客様に貢献するために個人の能力開発に努めます。
- 私たちは法令、会社のルール、約束を守ります。

2-2. 我々を取り巻く環境と取組





Co-Creation inspire

～次世代の創出を共にめざして～

- 「Co-Creation」：多様な立場の人たち、ステークホルダーと対話しながら新しい価値を生み出していく考え方のこと。
- 「inspire」：ある人物の行動や思想に、自身の行動や思想を変化させるほどの強い影響を受けること。二人の行動や思想が必ずしも一致するわけではなく、全く関係のない分野同士でもインスパイアする、されるといった関係は成立しうる。

2-4. 基本方針



1. コアビジネスとDXビジネスによる相乗効果 (参考 二つのモード)

- コアビジネスの強化とお客様重視の徹底
- 大分県内自治体共同利用の拡大と安定運用の追求
- 自治体DXの実現と製品・サービスの全国展開
- 自社ブランドパッケージ製品開発強化と収益性の向上
- 民間ビジネスの製品・サービスの開発推進と全国展開強化
- デザイン思考とアジャイルでお客様、社会のDX推進
- 社内外の連携による共創ビジネスの拡大
- 事業、製品・サービスの選択と集中

DX

design
thinking

2. 拠点の体制強化

- 東京本社 of 体制強化
- 西日本支社の体制強化、事業部化
- 福岡、九州地区のビジネス強化
- 拠点体制整備のための現地採用強化 (新卒・キャリア採用)
- 共創促進、メーカー、パートナー企業との連携強化
- 海外企業との連携強化、外国人の採用、多様性の活用



2-4. 基本方針



3. 内部統制・経営基盤のさらなる強化

- 社内諸制度のスピーディな確立、強化とP D C Aによる見直し
- 収益体質強化（トラブル、仕損プロジェクト撲滅）
- マネジメント力の強化によるトラブルの撲滅
- I Tサービスマネジメントによる課題解決の推進（品質・生産性・収益性向上）
- 積極的な投資（製品開発・M & A・労働環境）
- 財務健全性の維持、財務評価の信頼性向上
- 広報機能の強化（信用力・ブランド力・知名度向上）
- S D G s への取組強化
- 事業継続のためのB C P整備（C O V I D - 1 9、自然災害への対応）
- 内部統制を支えるプロ人財の育成（法務、財務、人事管理、労務管理・・・）

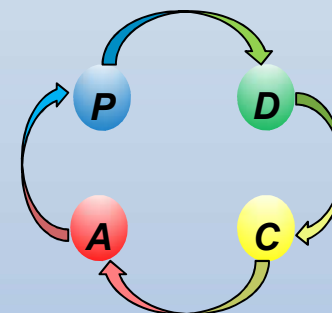
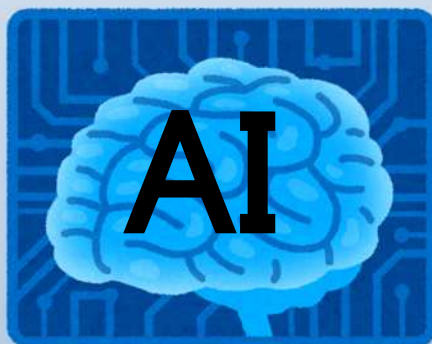


2-4. 基本方針



4. 社員のキャリア形成支援と働き方改革の推進

- 人財育成につなげる新人事制度の運用とタレントマネジメントシステム活用
- IoT、AI、セキュリティ、データサイエンス等のスペシャリスト人財育成
- 新人事制度によるスキルアップ、社員教育・訓練の充実
- 働き方改革推進による労働生産性向上とワークスタイル変革
- シニア社員の活用と能力の発揮しやすい制度の実現
- 女性社員の活躍推進、女性役員の登用、女性管理職の大幅増の実現
- 健康経営の強化、オフィス環境の改善、新しい働くスペースの確保



2-5. 財務計画

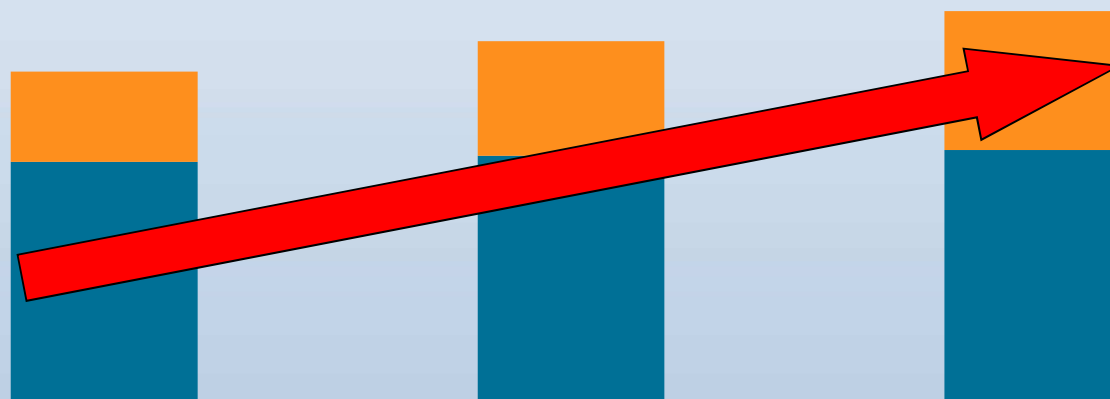


単位（百万円）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上	12,228	11,000	12,000	13,000

DXビジネス

コアビジネス



コアビジネスを強化しながら共創におけるDXビジネスを拡大・成長

※2020年度の売上はOEC、OLGOを合算した数値

2-6. 人員計画



単位（人）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
社員数	480	500	520	550
臨時・パート社員数	45	50	55	60
合計	525	550	575	610

多様な人材獲得（新卒、キャリア、外国籍等）
拠点採用の推進
シニア社員の活用
多様な働き方
エンゲージメント向上による離職率低下
オフィス環境の改善

2-7. 人財力強化計画



1. 『働きがい』のある会社へ



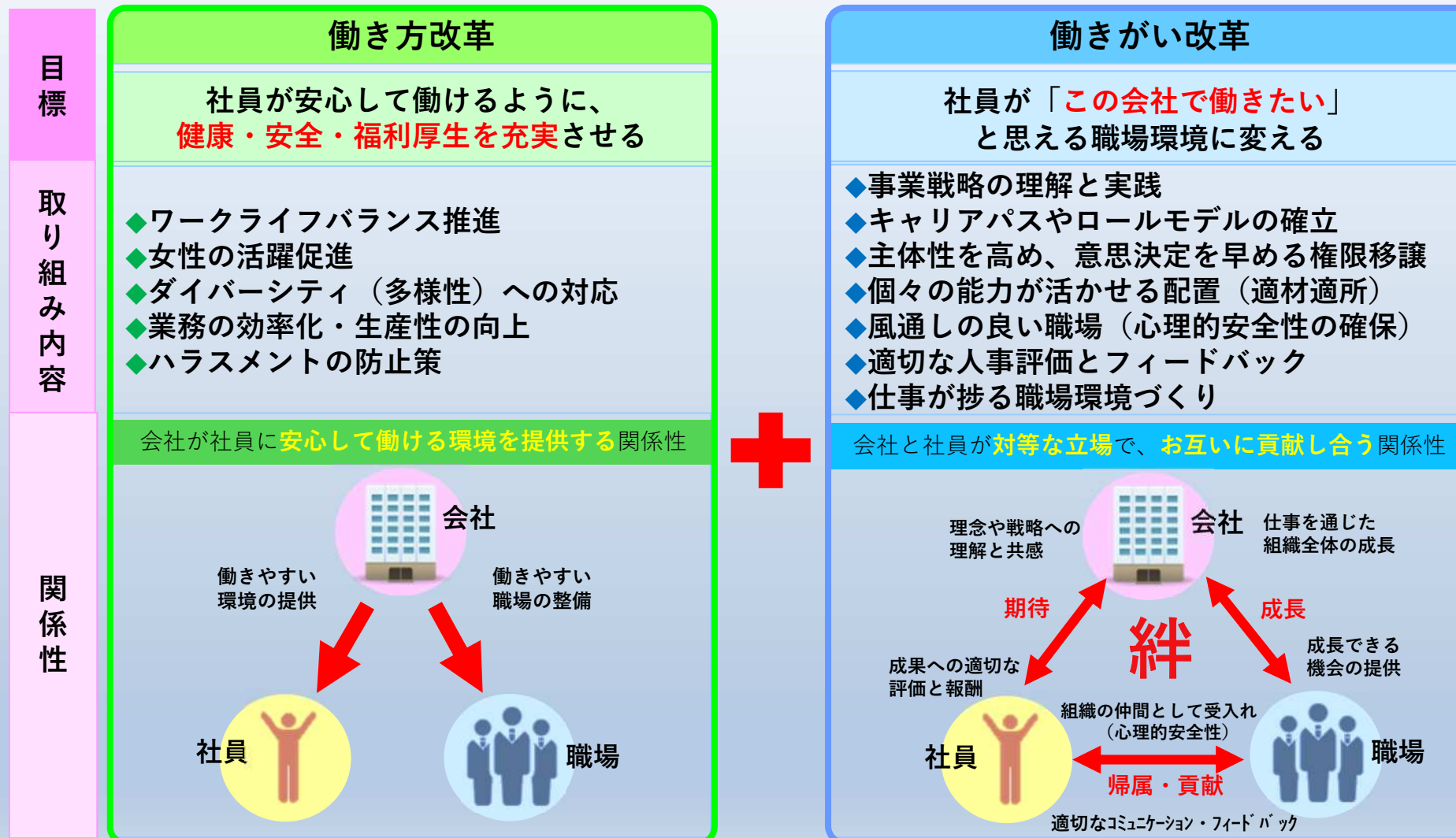
2. 人財育成



2-7-1. 『働きがい』のある会社へ

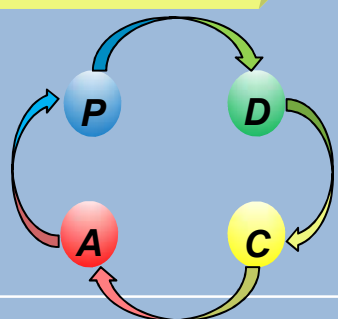
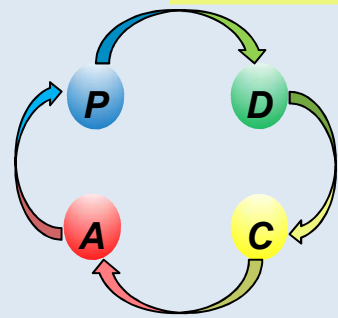
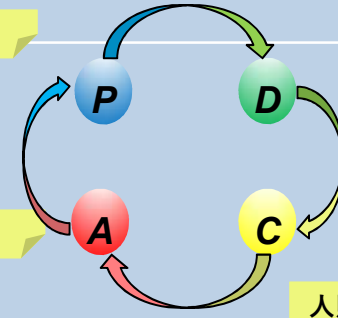




働き方改革に『働きがい改革（エンゲージメント向上）』を加えた取組みへ

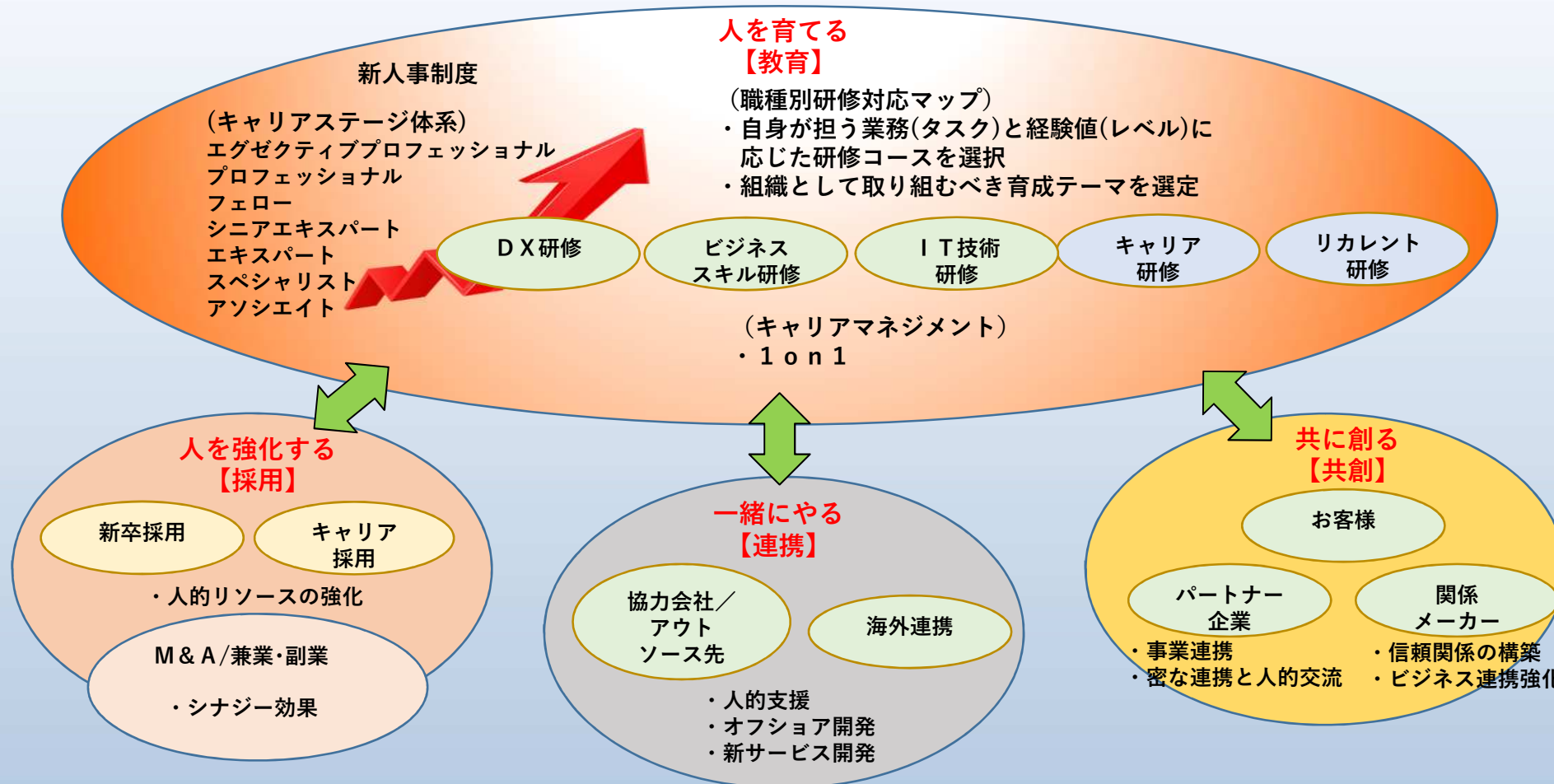


2-7-2. 『働きがい』のある会社へ



	2021年度	2022年度	2023年度	推進項目
働き方改革	<p>モバイルワーク促進</p> <p>社内DX推進</p>	<p>女性の活躍推進</p> <p>アンコンシャス・バイアス排除</p>	<p>時短正社員制度(副業考慮)</p> 	<p>ワークライフバランス推進</p> <p>女性の活躍促進</p> <p>業務の効率化・生産性の向上</p> <p>ハラスメントの防止策</p> <p>ダイバーシティへの対応</p>
働きがい改革	<p>地域限定社員制度</p> <p>社内FAの推進</p> <p>カオナビの有効活用</p> 	<p>定期的なメッセージ発信</p> <p>人財育成の強力な推進</p> <p>集中/休憩スペースの整備</p> 	<p>社員間の信頼関係強化</p>	<p>事業戦略の理解と実践</p> <p>キャリアパス・ロールモデルの確立</p> <p>主体性を高め意思決定を早める権限移譲</p> <p>個々の能力が活かせる配置</p> <p>風通しの良い職場</p> <p>仕事が捗る職場環境づくり</p> <p>適切な評価とフィードバック</p>
評価	<p>キャリアステートメントの仕事満足度に関する12の質問の平均値向上</p>	<p>PDCAサイクルを回しながらエンゲージメント向上を目指す</p> 		<p>エンゲージメント向上</p> 

2-7-3. 人財育成



「目の前を見て、できない理由を考える」のではなく
「人財の育成・強化、連携・共創から、できるやり方を考え」挑戦！

(参考) 二つのモード



従来の1F+新しい2F(DX)で相乗効果を出して前進

	モード	内 容	スキル	資格
2F DX ビジネス	不連続的で俊敏性・スピードを重視するシステム群であるモード2 (SoE、攻めのIT)	デザイン思考やUX等の手法を駆使して何を作るのかを顧客とともに考え、途中で要件や設計に変更があることを前提に短いサイクルで動くものを作るアジャイル型での開発	デザイン思考、 データサイエンス、 アジャイル ・・・	E 資格 G 検定 DX 検 定 他
1F コア ビジネス	従来型の拡張性・効率性・安全性・正確性を重視するシステム群のモード1 (SoR、守りのIT)	最初に全体のスコープや計画を策定し、開発の工程を複数に分割して、段階を追って順序立てて進めていくウォーターフォール型での開発	プロジェクト管理、 ITサービス管理、 品質管理 ・・・	情報処 理技術 者資格 他



100年企業へ



株式会社オーイーシー

